

第 14 回アジア太平洋環境会議（エコアジア 2006）

議題・プログラム

メインテーマ：持続可能な社会の実現を目指して

目的：持続可能な社会の実現をテーマとし、個人・コミュニティ・アジア太平洋地域それぞれのレベルでの活動をどのように推進していくべきかを議論する。

アジア太平洋地域の環境リーダーが自由に意見交換を行う場であるエコアジアの特性を活かし、近い将来を考えた上で地域において必要な環境政策を議論することとする。

各セッションでは参加者の中からファシリテーター、リードスピーカーを指定し議論を進める。

6月23日（金）

19:00-20:30 （会場：4階 ロイヤルプリンセス）
さいたま市長主催レセプション

6月24日（土）

9:00-9:30

登録

9:30-10:30 （会場：4階 ロイヤルクラウン）

開会

小池百合子 環境大臣開会挨拶

相川宗一 さいたま市長歓迎挨拶

G E A ヴァーチャルグローブ 環境NPO/NGO会議の報告

大木 浩 地球環境行動会議（G E A）事務総局長・元環境大臣

留学生エコ作文コンクールの表彰

写真撮影

休憩

11:00-13:00（会場：4階 ロイヤルクラウン）

議長の選出
議題案の採択

セッション1：ひとりひとりの取組みを活性化するために

目的：風土にあった伝統的なライフスタイルには、冷房を必要としない衣服等環境保全の観点から利点を持つものも多い。この良さを国民一人一人に再認識してもらうため、国としてどのような取組みを進めていくべきかについて議論を行う。

ファシリテーター：小池百合子 環境大臣

<リードスピーカー>（スピーチは各6分）

- ・ さいたま市 相川宗一市長
- ・ ダショ・パルジョル・ドルジ ブータン国家環境委員会特別顧問
- ・ タン・ヨン・スン シンガポール環境水資源省 事務次官

討議事項：

- ・ それぞれの国における、環境保全の観点から望ましい、伝統的なライフスタイルはどのようなものか。
 - ・ 伝統的なライフスタイルや知恵を、現代の生活にいかにか活かしていくべきか。
 - ・ 各国で共有できる取組みとしてどのようなものがあるか。
- ・ このセッションでは、個人レベルでの活動をどのように推進していくべきかについて議論する。
- ・ リードスピーカーによるスピーチの後、自由討議形式とする。

13:00-14:30（会場：21階 21バンケットホール）

小池百合子環境大臣主催昼食会（各国各機関の代表者のみ）

15:00-17:00（会場：4階 ロイヤルクラウン）

セッション2：コミュニティでの取組みを活性化するために

論点：ユニークな環境保全の取組みが進められている都市や地方自治体等コミュニティの活動を促進するため、国としてどのような取組みを進めていくべきかについて議論を行う。

ファシリテーター：エミル・サリム アジア・太平洋環境開発フォーラム(APFED)
メンバー・元インドネシア環境大臣

<リードスピーカー> (スピーチは各6分)

チュン・ラエ・クウォン 国連アジア・太平洋経済社会委員会
(UNESCAP) 環境・持続可能な開発部長
唐丁丁(タン・ディン・ディン) 中国国家環境保護総局 国際協力局副
局長

討議事項：

- ・ 環境政策の観点から、地方自治体の役割として期待しているものは何か。
- ・ 地方自治体が進めているユニークな取組みとしてどのようなものがあるか。
- ・ 地方自治体の取組みを支援するため、国としてどのような取組みを進めているか。各国で共有できる取組みとしてどのようなものがあるか。

- ・ このセッションでは、都市や地方自治体レベルでの活動をどのように推進していくべきかについて議論。
- ・ リードスピーカーによるスピーチの後、自由討議形式とする。

17:00-17:30 (会場：4階 ロイヤルクラウン)

セッション3：アジア太平洋地域での協働を進めるために

目的：アジア太平洋地域での環境保全への取組みは、地球環境全体をみても重要。このアジア太平洋地域での環境保全のための協働を促進するため、どのような取組みを進めていくべきかについて議論を行う。

ファシリテーター：浜中裕徳 財団法人国際湖沼環境委員会理事長

アジア環境行動パートナーシップについてのプレゼンテーション
小林光 環境省地球環境局長

討議事項：

- ・ プレゼンのみ。質疑・討議は翌日のセッションで実施

- ・ このセッションでは、アジア太平洋地域レベルでの活動をどのように推進していくべきかについて議論。
- ・ 翌日のセッションに先立ち、環境省からのプレゼンのみを実施。

17:40~18:10 国連アジア・太平洋経済社会委員会主催サイドイベント「アジア太平洋地域の環境の状況」
(会場：4階 ロイヤルクラウン)

18:30-20:00 (会場：4階 ロイヤルプリンセス)
小池百合子 環境大臣主催レセプション

6月25日(日)

9:00-11:00 (会場：4階 ロイヤルクラウン)
セッション3(続き): アジア太平洋地域での協働を進めるために

目的: アジア太平洋地域での環境保全への取組みは、地球環境全体をみても重要。このアジア太平洋地域での環境保全のための協働を促進するため、どのような取組みを進めていくべきかについて議論を行う。

ファシリテーター: 浜中裕徳 財団法人国際湖沼環境委員会理事長

<リードスピーカー> (スピーチは各6分)
ハンス・ファン・ヒンケル 国連大学学長
渡辺正孝 国立環境研究所特別客員研究員

討議事項:

- ・ 地域での環境保全を進めていくために、どのような取組が必要か。
- ・ 環境保全に関しては地域において様々なイニシアティブが既に存在する。これらをより効果的に進めていくため、どのように連携を進めていくべきか。
- ・ このセッションでは、アジア太平洋地域レベルでの活動をどのように推進していくべきかについて議論。
- ・ リードスピーカーによるスピーチの後、自由討議形式とする。

11:00-11:30 (会場：4階 ロイヤルクラウン)
閉会

12:00-
エクスカージョン(さいたま市主催)

エコアジア関連イベント

- 5月31日 クールアジア2006（環境省主催）
- 6月23日 「さいたま環境フォーラム2006」環境シンポジウム（さいたま市主催）
- 6月22日 GEA ヴァーチャルグローブ 環境NPO/NGO会議
（GEA 地球環境行動会議主催）
- 6月23日 クリーンな環境のための北九州イニシアティブ アジア太平洋地域の持続可能な開発のためのライフスタイル変換のためのローカルイニシアティブに関する国際ワークショップ（UNESCAP、IGES、北九州市、環境省主催）
- 6月24日 アジア太平洋地域の環境の状況（UNESCAP 主催）